

こ い し ょ う よ う す い
五位庄用水とくらし



案内人
りえ



五位庄頭首工



案内人
こい太



五位庄用水にはどんな施設があるのかな？

五位庄用水は、小矢部川をせき止めて造られた小矢部市田川地内の五位庄頭首工から、毎秒最大約5.8m³を取水し、高岡市国吉まで延長約8.5kmを流れ、約626haの農業用水のほか、生活、防火用水などとして役立っています。



サイフォン

用水路が他の水路などを横断して流すとき、地下に設ける水路をサイフォンといいます。サイフォンの入り口から入った水は出口で入口の水位近くまで上がり、下流へ流れます。



五位庄頭首工

川をせき止めて米や野菜を作るために必要な水を取り入れるための施設です。

取水門

頭首工からの水の取り入れ口や用水路から分水して、支線用水路へ流す箇所に水門が設けられ水量を調節する施設です。



制水門

小矢部川が大洪水になったときの事態に備え、用水に大量の水が入り、田畑や家が浸水しないよう設けられている水門です。

沈砂池

大雨で山から流れ出る泥水が用水に入らないように土砂を溜める施設です。



小矢部川左岸に広がる五位庄地区のながめ

排水門

大雨になると用水路は雨であふれます。こんなときに大きな川へ雨水を放流するために設けられた施設です。



調整水門

用水路のところどころに設けられ、水面を高くして支線用水路へ水を送りやすくする施設です。

消雪ポンプ・揚水機場

道路の雪をとくため用水路からポンプで水を送る施設です。また、用水路よりも高い所にある田んぼへポンプの力で水を送る施設もあります。



洗い場

野菜や農具などを洗うのに使われ、今度の改修でも新しく作られました。



水の事故をなくしましょう。



用水をきれいに！

五位庄用水って いろんな働きをしているね



なにげなく目にしている農業用水、しかし地域の人々の暮らしに欠かせないのが農業用水です。田畑をうるおして農作物を育てるのはもちろんですが、洗い場や消雪など暮らしの用水としても利用されています。また、火事的时候は防火用水として、大雨のときは排水路として災害の防止に大きな役割をはたしています。

用水の役割



農業用水(かんがい用水)

農作物を育てるため田畑へ水を送る。また、田んぼの水は地下に浸透して地下水となり、その水は汲み上げられ、飲用水、消雪用水や工業用として利用されるんだ。また、田んぼは雨水を一時たくわえるので洪水を防ぎ大きなダムの役割をしている。



生活用水

野菜を洗ったり、農機具を洗ったりするのに利用。



消流雪用水

道路の雪をとかしたり、除雪後の雪を流す。



防火用水

火事的时候用水からくみ上げた水で消火活動をする。また、大雨の時には洪水を流すための排水路としても役立っている。

ほかにも、どんなことに役立っているか調べよう!!



水路の生き物しらべ



自然・環境用水

動植物を育む。用水の周辺には公園や遊歩道などが作られ、快適な生活環境にも役立っている。



新しくつくられた水辺公園

五位庄アジサイの郷

五位庄アジサイの郷は、平成16年度地域域外連携推進事業五位庄地区によって地域住民のゆとりとに、やすらぎの場としての役割を担い、整備された花郷です。

この事業は、五位庄用水路における両側溝や排水用池、生活環境整備など機能増進を目的とし、従来の農業用水としての役割だけでなく、用水路をもつ多面的な機能の促進を図ろうとする事業です。

見たことあるかな?



水路は魚や昆虫などの生き物の住み家だよ。昔(昭和30年ごろまで)は、コイ、フナ、ウグイ、その他大小さまざまな生き物がいたんだ。



コイ



トノサマガエル



ナマス



ウグイ



どじょう



タモロコ

貝類
・カワニナ
・シジミ

水草類
・バイカモ
・ミクリ
・ミスアオイ

こんなにたくさんの魚がいたんだね。

今はどうだろう?



昔の人はどうして こんな用水をつくったの？



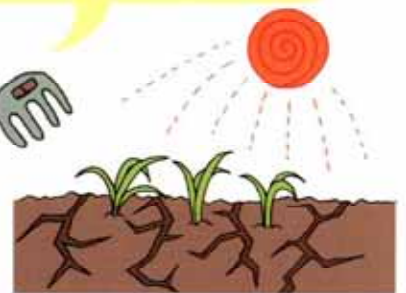
五位庄用水が出来た時期は明らかではないが、江戸時代の中頃(1700年代)には、沿線の十ヶ村の村々が、協力して小矢部川から取水していた記録がある。ご先祖は、水を利用するためいろいろの苦勞をしたのだ。

先人の苦勞ばなし

台風がきて大雨が降れば、山から泥水が用水に入り、しばしば稲刈り前の田んぼに水がついたり、土砂で埋まり、収穫が台なしになることもよくあった。



日照りが続くと小矢部川の水が少なくなって、用水の上流で水を取ると下流へ水が流れなくなるため、水争いが絶えなかった。



五位庄頭首工が出来る前は、小矢部川が洪水になれば、木棒と石を積んだ堰は流され、そのたびに修理に大勢の村人が出て何日もかかった。



昔



昭和29年ごろの五位庄用水(福岡町上向田地内)

今



改修された今の五位庄用水(福岡町加茂地内)

ゆたかな水がふるさとの文化や特産品を生み出したんだ



山々や大地から注ぐ豊かな水は、田畑をうるおし農作物を育みます。人々はこれを農業の営みとしてとりいれ、暮らしを支えました。やがて、地域独特の伝統や文化を生み出し、産業として受け継がれています。

菅がさ

菅笠づくりの歴史は古く、400年前につたえられたといわれています。すげで編んだ笠は、日がさ・雨がさとして農作業などに利用され、また近年では民謡踊りの花笠や、民芸品として広く使用されています。福岡町の代表する特産品となっています。



つくりもんまつり

300余年の伝統をもち、地蔵祭りがはじまりといわれています。五穀豊穡に感謝して秋の収穫物を供え、それが年月を経て野菜は姿を変え、人情味あふれる庶民芸術「つくりもん」として、毎年9月23日24日に盛大に開催されています。



養鯉

福岡地区は古くから湿地帯で水田開発が難しく沼地が多かったため、逆にこれを活用して、慶応2年、農家が副業として鯉の養殖が始まりました。



おいしいお米

くによし 国吉りんご

清らかな水と豊かな土壌、そしてきれいな空気です。育てられた地域の特産品です。



みんなで守ろうきれいな水とふるさと

生活に安らぎとゆとりを、そして心にうるおいを与えてくれる地域用水。美しい水辺空間をみんなで育み、守っていきましょう。

フィルムで残す“五位庄用水の暮らしのポエム”
小中学生カメラコンテストの作品(一部)



表紙の写真もコンテスト作品です